

奈良女子大学わかたけ会  
シグマソサエティ

6月20日

高齢者施設で  
楽しく交流



一つの絵を4等分にし、4グループがそれぞれ好きな色の広告を貼りました。1枚の絵に戻すとすばらしい作品に。

長年にわたり、八幡市「手をつなぐ親の会」に協力し小・中学生の障害児と一緒にプレイルームを企画し奉仕活動を展開。今年は奈良一平城クラブと共に「奈良親子レスパイトハウス」の研修会に、また、老人ホーム佐保苑を訪問。毎回オリジナル企画で勉学とボランティア活動に励んでいます。

県立郡山高等学校・家庭クラブ Sクラブ

基本精神  
勤労・愛情  
奉仕・創造



早朝クリーン活動、敬老会お手伝い、交通安全啓発運動に手造りの巾着袋配布、また子どもの虐待オレンジリボン啓発運動キャンペーンにもリボンを製作し参加。子ども達との交流「親子たんどん郡高広場」にも楽しみながら参加協力しています。

冬休みには、地域の保育園を訪問して、ゲームや絵本の読み聞かせを行いました。(写真)小さな子どもたちとの触れ合う機会がすくない高校生にとって、大変貴重な体験でもあります。

● 新年移動例会  
寿初春大歌舞伎観劇

1月17日

新年例会は、お正月気分も残った大阪松竹座で移動例会となりました。市川猿之助の襲名披露公演を会員一同楽しみ、すっかり若者の街になった道頓堀でゆったりとした会員交流を過ごす事ができました。



SIA日本中央リジョン  
奉仕プログラム委員会委員 田中真知子

国際ソロプチミスト奈良-平城 2012.9.1 - 2013.8.31  
2012年度・理事会メンバー

会長	川本 陽子	トレジャー	中村美哉子
会長エレクト	福留 和	A.トレジャー	植村 榮子
副会長	田中真知子	理事	馬淵 哲子
セクレタリー	英保 昌子	理事	上坂 弘子
C.セクレタリー	粉家 玉枝	理事	岩井 宣子
		理事	中谷 静子

E-mail: info@nara-heijyo.net.worknara.com

奈良市立一条高等学校・吹奏楽部Sクラブ

コンクールで  
高い評価



▲ウィーン楽友協会ホールにて(2008年)

県内でも有数の実力を誇り、毎年、県代表として吹奏楽コンクール関西大会に出場。

今年3月にはキャンベラ市(奈良市と姉妹都市・オーストラリア)、また第37回のレギュラーコンサート(4/29・奈良県文化会館)でも高い評価をされ、文化交流の輪を広げました。

SI奈良-平城の6月プログラム例会で、上記キャンベラ海外演奏旅行の報告と記録ビデオを鑑賞。(2ページ参照)

● FLクラブSIキャンベラとの共同活動

「奈良市立一条高校 吹奏楽部Sクラブ」の一行104名は、春休み中に奈良市と姉妹都市であるキャンベラ(豪州)へ演奏旅行で訪問しました。この機会にスポンサーシップ・IGU委員会の連携で、FLクラブの「SIキャンベラinc」との交流を企画実現。

FLクラブの会長とセクレタリーから歓迎と激励のメッセージをもらったり、プレゼント交換をして両国友好の架け橋となった一行はキャンベラ(ACT)100周年記念事業の「音楽部門 貢献賞」受賞の素晴らしい「おみやげ」を手にして無事帰国しました。交流内容は、FLクラブから「SIキャンベラ ニュースレター」4月号で、当クラブに送信されました。

各会員の入念な事前準備とITの活用で 赤道を越えて南北へ繋がるキャンベラと日本、FLクラブが「遠くて近い」関係を実感しました。(IGU委員会)



ささき いくよ  
佐々木 育代 新会員紹介  
2012年9月 入会  
趣味は日舞・茶・華、文化財の保護や、地球環境問題にも興味があるという佐々木さんです。ご活躍を期待しています!

編集後記

川本会長の後を追いかけて、各委員の足を引っ張らないように念じながら、ひたすらリジョンと当クラブのHPに記事と写真を送信し、報道機関に記事依頼・提供をし続けた1年間でした。

クラブレポート作成にあたり、この1年を振り返り、各委員会が取り組む新・継続事業、また例会での各会員の熱い想いを見聞きしながら、紙面には収まらないほどの、毎月の支援・奉仕活動の数々が蘇ってきます。

当レポートが2012年度の轍と記録になれば幸いです。ご指導・ご協力いただきました皆様にお礼と感謝を申し上げます。 広報委員長 安江恵子



SINCE 1987

2012~2013  
Activity

Soroptimist International Nara-Heijyo  
CLUB REPORT

2012~2013

国際ソロプチミスト奈良-平城

私たちは地域と世界中で、女性と女兒のための生活向上を目指し、奉仕活動を行っています

<http://nara-heijyo.networknara.com/>



FLキャンベラへのクリスマスカードに会員の写真付きでメール(12月例会)

ごあいさつ

会長 川本 陽子



2012年度期は、日本を大きく揺るがした一年前の東日本大震災の復興もままならない閉塞感に満ちた年の出発でした。個人的には、2004年に会長を務めさせて頂き、再度の任務でございましたが、豊かな奉仕の心に満ち溢れた理事会メンバー皆様方の温かいご指導を頂き、ソロプチミストとは何かと教えられた一年であり、多くを考え学ばさせて頂きました。

奉仕団体である国際ソロプチミストの根幹から外れる事のない、しっかりと内容のある活動を、そして一人よがりとはならず、会員全体の心を読み取るべく作業に取りかかろうと、当初に決めた次第です。

『心ここにあらざれば視れども見えず、聴けども聞かえず』と四書五経「大学」の書の中の有名な教えです。奉仕の心、会員の意見とはと自分にも問う一年でした。

今期の冒頭に千 容子ガバナーより、初メッセージとして「未曾有の被害を受けた日本を再生する

には、もう一度ソロプチミストのあり様を考えると、やはり『和』である」との事でした。この精神が地域社会へと拡大し、姉妹クラブとの協調への「リンク」となって奉仕につながり、会員一同が納得いく奉仕は苦勞があっても結果として、必ず心地よいものであると考えました。

クラブとしては、大和郡山市社会福祉協議会内の一人親家庭の児童への学習支援、(社)奈良親子レスパイトハウス支援、東日本大震災への支援等に加え、永年に亘りDV被害者と同伴児の自立支援の「SI奈良-平城 慈善基金」の活動に対して、リジョン大会に於いてサプライズ賞を受賞いたしました。SI奈良-平城会員全員の努力の賜物と拝受し、嬉しい賞でした。更にもう一つ、昨年度末に2名の退会者があり、淋しいスタートでしたが、すぐに新会員をお迎えでき、賑やかになった事も嬉しい事の一つでした。

例年の奉仕活動に対して皆様には、東奔西走のお忙しい日々でありました。心より感謝申し上げます。

最後になりましたが、至らぬ点が多々ありました事、お許しいただきたく存じます。

次年度もクラブの『和』を大切に「SI奈良-平城」らしい落ち着いた活動を続けて頂きたくお願い申し上げます。

CLUB REPORT

News Letter No.13  
(2013.7)

承認 1987年9月19日  
例会日 毎月第3木曜日  
例会場 レストラン菊水  
〒630-8301  
奈良市高畑1130  
0742-23-2007  
会長 川本 陽子

● 母子家庭の子どもたちへの学習支援 10月30日

大和郡山市社会福祉協議会(会長・上田清市長)に市内の母子家庭児への学習支援として、こども達が使うパソコン購入費用を贈呈。それに先立ち、奈良県のトップを切って、学習支援の取り組みを始めていた同協議会事務局長らの卓話で現状を学びました。

新しいパソコンを使って  
学習している子ども達を訪問

12月20日

市の「ひとり親支援」活動として、教員を目指す学生たちがボランティアで子ども達の宿題や勉強を教えています。宿題の終わった子どもたちがパソコンの周りに集まり文を作り、年賀状にも挑戦していました。パソコンを使って辞典の代わりに使えるようになるのも時間の問題でしょう。楽しく、有意義に役立つことを願いました。



● 頑張る地域の女性にクラブ賞と支援金贈呈 12月20日 6月20日

私達は「地域社会と世界中で女性と女兒の生活を向上させる」を目標に、地域の女性を顕彰し賞を贈りました。



▲クラブ表彰と本年度支援金贈呈



▲クラブ賞とS・シクラブに支援金贈呈

社会ボランティア賞

西村 千鶴子さん

児童虐待が後を絶たない現在、親子が楽しく育児ができるように自ら発案・実行を積み重ね、さまざまな活動を通して子育て支援の重要な人材として活躍されています。

女性に機会を与える賞(WOA)

上杉 あき代さん

ひとりで二人の子どもたちを育て、経済的負担を負いながらも看護師取得目的に、強い意志を持って未来に向かって努力されている女性。

クラブ賞 テートDV防止

「参画ネットなら」

代表 風味 良美さん・上原 夏子さん

DV予防教育活動等、子どもの人権を守るため多大の努力をされ、今後とも益々社会に求められる子ども達の健全育成に貢献されている団体。

● プログラム例会に姉妹クラブと交流



▲6月、会食と情報交換を楽しみました(レストラン菊水)

奈良の歴史と文化に学ぶ

2月28日

県下SIクラブとの交流会が企画され、2月にはSI奈良一あすかクラブとの交流合同講演会に参加しました。国立博物館学芸部長 西山 厚氏の知っているようで知らない「奈良の歴史と文化に学ぶ」を勉強することができました。

キャンベラ演奏旅行のビデオ鑑賞と現地報告

6月20日

奈良市立一条高校吹奏楽部Sクラブが、奈良市の姉妹都市オーストラリア・キャンベラ市の市制100周年の、祝賀イベントに参加。異文化体験や、音楽を通じた現地高校生との交流。楽器の国外持ち出し、ホストファミリーの確保等々、大きな成果を得られたことを吹奏楽部顧問・谷 清貴氏から報告がありました(写真)(SI奈良一平城)



● 東日本災害「愛の支援活動」



「コメ放射能ゼロへの挑戦」ドキュメンタリー映画の支援では知名度をアップすることができ、歳入委員会と合同で被災地天栄村のおコメをバザーで販売、「被災地産のコメ使用」に貢献しました。東北ライフライン「こころの救急箱」支援では被災地の生の声を聞くことができ、悲惨な状況に少しでも力になればと奉仕活動に励みました。

● SI奈良-平城賞に伊勢谷さん

11月18日

第8回 「奈良のシカ」保護啓発ポスターコンクール

奈良県図書情報館で入賞された児童の作品の展示と表彰式が行われました。

SI奈良-平城賞を受賞された、奈良市立左京小学校の伊勢谷彩花さんは、「鹿の輪郭が難しかったので、しっかり奈良公園で写生をしました。賞をもらえてうれしいです。」と、話してくれました。



▲喜びの伊勢谷さんと会員

● 第14回小・中・高校生の  
未来を考える集會に参加、支援

2月2日

「子どもを学校へまる投げしていませんか! 規範意識の低下を考えよう」

「命を輝かそう」に関する標語やポスターの表彰式、実践報告、また 野口克海氏(大阪教育大学 監事)の講演では、いじめや体罰の実体験を通して子どもの人権についての話を聴き、諸問題の解決に大いに参考になるものでした。



● (社)奈良親子レスパイトハウス支援

1月27日

家族に生きるための豊かな時間を! 重い障害をもった子ども達に必要な専門的な医療と、子ども達を支える家族のQOL(人生の質・豊かさ)を大切にする支援。豊かな自然と歴史をもつ奈良東大寺境内で穏やかな時間を過ごされるように親子レスパイトハウス設立三年目の支援です。



▲市民交流セミナー東大寺金鐘會館

第27回 リジョン大会・サプライズ賞受賞  
「未来に希望を与えま賞」



SIA日本中央リジョン大会が、名古屋で開催され、当クラブが「未来に希望を与えま賞」を千 容子ガバナーから川本陽子会長に渡され(写真右上)、思いがけないサプライズに出席した会員たちの喜びの音が会場に大きく響きました。基金を設け、DV被害者の支援活動に対する表彰で、尚、一層地域にあったご奉仕をしていく必要性を再認識しました。

● DV被害者支援

11月18日 2月21日

県中央子ども家庭相談センターに毎年「DV被害者と同伴児支援のため」慈善基金より資金を支援しています。

DV被害者の増えることはあっても、年を追って増加する被害者に、抜本的な施策の必要を痛感するばかりです。



● 女性に対する暴力防止フォーラム  
(県主催)に参加

10月26日

若い世代への暴力被害をなくしていくためにDV防止の第一人者・戒能民江先生の現状と今後の取り組みについての講演会に、会員が数名参加しました。交際相手からの暴力「デートDV」の、深刻な現実に一同胸のつまる思いがしま

図書館の炭オブジェ

年に2回の飾り付け更新 11月・7月



大和郡山市立図書館に寄贈している4つの炭オブジェは、館内の空気の浄化と、ソロプチミストの活動をPRするものです。今回は紅葉の郡山城址、市治道こども園の子どもたちの元気な笑顔、活躍する獅子太鼓演奏のみなさんを紹介する写真を、色紙に加えて飾り付けました。写真の希望者があったり、好評でした。